

### 第3章 これまでの主な取組

#### 1 水道事業ビジョンの取組状況

平成28年3月に策定した「久御山町水道事業ビジョン」では、「強靱」、「持続」、「安全」の3つの基本目標のもと、8つの基本施策に基づき、15の具体的な施策を実施してきました。

表 3.1 久御山町水道事業ビジョン達成状況

基本目標・基本施策	具体的施策 (目標指標・策定計画)	目標年度 (目標値)
<b>強靱（強靱で安定した水道）</b>		
老朽施設・管路の計画的な更新	更新事業の着実な推進 (経年化施設率)	令和47年度 (0%)
	効率的な更新計画の策定 (施設・管路更新計画)	令和9年度
重要施設・管路の耐震化	重要給水施設への重要管路の耐震化 (重要管路の耐震化率)	令和10年度 (100%)
	施設・管路の耐震化の推進 (施設・管路の新耐震化計画)	令和10年度
	石綿管の解消 (石綿管残延長)	平成28年度 (0km)
非常時対応能力の充実	非常用給水栓の設置 (配水池・給水拠点の非常用給水栓)	令和7年度 (9箇所)
	危機管理マニュアルの見直し	平成28年度
<b>持続（いつまでも健全に持続できる水道）</b>		
健全で効率的な事業運営の推進	アセットマネジメントの導入	平成30年度～
	水道施設のスリム化へ向けた更新 計画の策定 (更新計画の策定)	令和9年度
	情報の発信	平成28年度～
技術レベルの向上	技術の継承と資格取得の推進 (職員資格取得度)	令和7年度 (0.4件/人)
環境への取組	省エネルギー設備の導入	平成28年度～
<b>安全（安全な水をいつも送る水道）</b>		
水質管理の強化	水安全計画の策定	平成30年度
	水質管理の強化	平成28年度～
鉛製給水管の解消	鉛製給水管の取替え推進 (鉛製給水管率)	令和10年度 (0%)

## 評価

◎:目標達成

○:目標達成に向け計画どおり進行中のもの・目標年度には達成できなかったが、現在は目標達成済みのもの

△:目標年度には達成できないが、将来的には達成できる見込みのもの

×:未達成かつ現時点で達成の見込みがないもの

未:目標年度未到来で今後実施する予定のもの

達成状況	評価
実使用年数に基づく更新年数も考慮する中で、長期的視点に立ち、効率的な維持更新に努めています。	○
現時点では未策定ですが、目標年度までには策定を予定しています。	未
令和4年度末現在で、役場庁舎、佐山小学校、京都岡本記念病院までの重要管路が耐震化済みで、耐震化率は75.39%となっています。現在の目標年度は令和9年度としていますが、計画どおりに進捗しています。	○
現時点では未策定ですが、目標年度までには策定を予定しています。	未
目標年度に達成済みです。	◎
令和4年度末現在で、佐古浄水場、役場庁舎、佐山小学校、京都岡本記念病院の4箇所に対応済みです。目標年度は令和7年度となっていますが、重要給水施設配水管耐震化事業に併せ、令和9年度には達成できる見込みとなっています。	△
目標年度に達成済みです。	◎
厚生労働省の簡易支援ツールでアセットマネジメントを実施済みで、当該結果を踏まえて、経営戦略において長期の投資計画を策定しています。	◎
現時点では未策定ですが、目標年度までの策定に向け検討していきます。	未
ホームページや広報紙「広報くみやま」での情報発信に加え、令和元年度からは機関誌「久御山町上下水道だより」を発行し、広報活動を推進しています。	◎
令和5年4月1日現在で、職員資格取得度は0.5件/人となっています。今後も、目標値を維持するとともに、さらなる向上に努めます。	◎
設備の更新時に、順次、省エネルギー設備を採用しています。	◎
令和5年度に久御山町水安全計画を策定しました。	○
水質基準項目等の追加や基準値の強化に順次対応し、水質管理の強化に努めています。	◎
目標年度を令和11年度に見直しているため、当初の計画どおりに進捗していませんが、将来的には達成できるよう努めていきます。	△



## 2 経営戦略の取組状況

平成31年3月に策定した「久御山町水道事業経営戦略」では、3つの投資目標と4つの財源目標を掲げ、経営健全化と経営基盤の強化に取り組んできました。

表 3.2 久御山町水道事業経営戦略達成状況

経営目標	目標年度
<b>投資目標</b>	
重要給水施設配水管耐震適合率を100%とします。 (水道事業ビジョンの目標年度見直し)	令和9年度
鉛製給水管残件数をゼロとします。 (水道事業ビジョンの目標年度見直し)	令和11年度
毎年の管路更新率を1.5%とします。	令和12年度～
<b>財源目標</b>	
毎年の経常収支比率を110%以上とします。	令和元年度～
料金回収率を100%以上とします。	令和元年度～
流動比率200%以上を維持します。	令和元年度～
企業債の残高を現状以下とします。(平成29年度比)	令和元年度～

## 評価

◎: 目標達成

○: 目標達成に向け計画どおり進行中のもの

△: 現時点では目標を達成しているが、今後、状況が悪化する見込みのもの

×: 未達成かつ現時点で達成の見込みがないもの

未: 目標年度未到来で今後実施する予定のもの

達成状況	評価
令和4年度末現在で、役場庁舎、佐山小学校、京都岡本記念病院までの重要管路が耐震化済みで、耐震化率は75.39%（耐震適合率：76.04%※）となり、計画どおりに進捗しています。	○
水道事業ビジョンから目標年度を見直し、現在は、計画どおりに進捗しています。	○
本目標は、重要給水施設配水管耐震化事業と鉛製給水管改修事業が完了した後、老朽配水管更新計画策定時に目標とすることを想定しています。	未
令和元年度が95.21%、2年度が104.32%と、令和2年1月以後に確定する料金から実施した料金改定により、一時的に数値は改善しましたが、本町が受水する京都府営水道の料金改定による費用の増加等により、令和3年度は100.12%、令和4年度は91.36%と再び悪化しました。今後も目標値の達成は難しい状況となっています。	×
経常収支比率と同様に、料金改定により一時的に数値は改善しましたが、本町が受水する京都府営水道の料金改定による費用の増加等により、今後も目標値の達成は難しい状況となっています。（R1:86.93%・R2:95.41%・R3:90.03%・R4:81.90%） ※R2～R4の数値は新型コロナウイルス感染症の支援対策として実施した水道料金の減免実績額を加えた実質の給水収益で算定しています。	×
令和元年度が336.9%、2年度が259.6%、3年度が282.2%、4年度が263.3%と目標の200%以上は達成していますが、京都府営水道の料金改定や物価高騰等の影響により、今後、数値は悪化する見込みとなっています。	△
令和4年度末の企業債残高は893,108千円となり、目標の平成29年度末残高851,553千円と比較して残高は増加しています。物価高騰等の影響により、今後も残高は増加する見込みとなっています。	×

※耐震適合率は、既に構造的に耐震性を有している配水管を足して算出した数値です。

